

2023年5月26日(金) 鳥取市立江山学園 先進地視察 当日の質疑

■鳥取市役所

問	豊岡市(開設準備委員会委員)	旧校舎(旧神戸小学校、旧江山中学校)は、今後何かに活用する予定はあるのか。
答	鳥取市教育委員会事務局	<p>昨年度、民間提案を受けて、旧神戸小学校には民間事業者のドローンスクールが入っている。校舎、体育館、グラウンド、プール等すべてを普通財産にして賃貸借契約を結び、活用してもらっている。なお、小学校の体育館のため地元利用のニーズがあるが、引き続き地元利用ができるように配慮してもらっている。</p> <p>旧江山中学校の方は、江山学園がスタートした令和2年度当時はグラウンドに仮設校舎が建っており、十分に部活動等のスペースが確保できなかったため、旧江山中学校の体育館、グラウンド、テニスコートを部活動で使っていた。仮設校舎が撤去されるまで跡地利用は保留としていたが、今年度から検討していく予定。</p>
問	-	(事前質問:教職員の数について)
答	鳥取市教育委員会事務局	義務教育学校として1学校の基準で職員を配置している。ただし、開校当時は様々な課題が生じるであろうということで、事務職員と養護教諭を1名ずつ加配して各2名に、また、全ての義務教育学校に副校長を加配している。校長、副校長、教頭については、それぞれの学校籍(小学校・中学校)を考慮してバランス良く配置している。
問	豊岡市(教育長)	各学校のブロック分けについて、それぞれの教育効果や課題について教えてほしい。
答	鳥取市教育委員会事務局	<p>福部未来学園は幼小中の10年間のため3・3・4制。鹿野学園は施設分離型のため基本的には5・4制だが、初等・中等ブロックを分けて2・3・4制としている。</p> <p>江山学園では、統合準備委員会で視察に行くなどして、地域にあわせた、教育効果が高いであろうブロック分けを検討・選択している。開校して1年経ったところで教職員に効果測定(アンケート調査)をしたところ、ブロック単位で動く意識が強くなったという意見や、ブロック制をとっているが、もとの(小さい)人間関係の打破まではいたっていないという課題がある。</p>
答	鳥取市副教育長	<p>2・3・4制の鹿野学園については、施設分離型として旧小学校舎に1～5年生、旧中学校舎に6～9年生が入っている。普通の小学校は6年生が最上級学年として、6年生の姿を目指して人づくりをしていくが、鹿野学園は5年生が最上級学年。5年生が責任をもって下の学年をみる。逆にこれまでの6年生が中学生の中に入ることになるが、直に中学生の行動(受験、学校行事、部活動)を肌で感じて成長している。少し子どもの成長が早くなっているように感じる。</p> <p>もう一つの成果として、学力テストの結果が良くなっていることがあげられる。学年によって学力が凸凹することがあるが、義務教育学校では1年生から9年間を使って学習を組み立てることができるので、9年間同じところで学んで、子どもの状況にあったカリキュラムを作って、卒業までにしっかり学力をつけることができる。</p>

2023年5月26日(金) 鳥取市立江山学園 先進地視察 質疑記録

■江山学園

問	豊岡市(開設準備委員会オブザーバー)	① 災害時の避難場所に指定されていると聞いたが、1階フロアが高い位置にあるように感じた。何らかの災害を想定して建築されたのか。 ② スクールバスについて、一番遠くから通学する児童生徒の距離と時間はどの程度か。
答	鳥取市教育委員会事務局	① 施設の高さについては、持ち帰って施設担当に確認する。 (後日回答分)今回の統合に伴い行った普通教室棟長寿命化改良工事は、既存の旧美和小学校を改修したものになるため、床の高さは旧美和小学校から変更はありません。美和小学校建設当時(S42)に浸水を想定していたかは不明です。
答	江山学園校長	② バスを利用している児童生徒で、一番遠くて20分程度。スクール専用ではなく路線バス。距離は不明。
問	豊岡市(開設準備委員会)	初めての義務教育学校で保護者も不安があったと思うが、開校後の保護者、児童生徒、先生の様子や感想は。
答	江山学園校長	開校2年目に赴任したので開校1年目の様子は把握していないが、2年目以降の様子では、保護者からはかなり理解してもらい協力してもらっていると思う。学校評価のアンケート項目で「統合して良かった」が約90%、「子どもを預けるのに信頼がおける学校である」が95%以上の肯定的な回答。総合的にみて、義務教育学校の取り組みをしっかりと後押ししようと思ってもらえていると感じている。
問	豊岡市(事務局)	① 修学旅行やその他宿泊学習等の行事について詳しく聞きたい。 ② 「学園タイム」は何をされているのか。 ③ PTAの組織について、役員の数・選出方法等どのような工夫をされているか。
答	江山学園校長	① 宿泊行事については、5年・6年・7年・9年生で実施している。開校してからコロナ禍のため縮小しての実施だったが、今年度からは従来に戻して実施したいと思っている。9年生は修学旅行として2泊3日で関西方面に、5年生は県内の船上山(少年自然の家)で1泊2日、6年生は研修旅行として1泊2日で奈良京都方面、7年生は氷ノ山に研修に行く。統合前のそれぞれの小中学校の宿泊行事を引き継いで実施している。  ② 学園タイムは、基礎学力定着の活動を行っている。紙ベースのミニドリルをすることもあれば、タブレットを使った学習(個々のつまづきに合わせて遊りすることができるアプリ活用)など。  ③ PTA組織については、義務教育学校だからという点は、ほぼ無い。小学校の感覚で言えば、1年から6年までの組織が、9年に伸びているだけ。そもそも小学校の組織と中学校の組織が大きく変わらなかったと把握している。

問	豊岡市(竹野小学校長)	<p>① 義務教育学校の特色として、区切りが4年生・7年生になった。区切りがあることでリーダーシップの醸成などが考えられるが、子ども達に何か変化があったのか。先生方の手ごたえは。</p> <p>② 6年生の担任の先生が中学校の方に指導に行っているとのことだが、具体的に何の授業を担当しているか。</p>
答	江山学園校長	<p>① 4・3・2制については、小学校と中学校のスムーズな接続が目的のひとつであるため、おおきくは5～7年生をひとまとめにしている。1～4年生は、以前よく聞かれた「10歳の壁」があるが、脳の発達段階として4年生で区切りがあることと、学年の数から4というまとまりで活動するのが良いということで4・3・2制にしていると把握している。</p> <p>リーダー性でいうと、4・3・2制は効果があるととらえている。従来であれば6年生でやることを7年生でやる。通常7年生は中学校の一番下の学年になり自尊心が下がり気味になる年齢だが、必要に迫られてリーダーになるため自己有用感がそれほど下がらないと思っている。</p> <p>また、4年生を初頭ブロックのリーダーとしていること、こちらの方が、より効果が高いと感じている。小学校の経験が長い教員だと4年生が6年生のようなことが出来るのか心配する声もあったが、実際に思い切ってやらせてみたら予想以上に出来る。サポートを教員がすることは多々あるが、4年生から経験を積ませて、次は7年生でもう1度リーダーに、そして最終の9年生と、本校の場合は3回リーダーになる機会が訪れる。</p> <p>② 6年生の担任だけが中学校の授業に出るわけではない。中等ブロックの主任が8・9年生の授業をしたり、5年生の担任が7年生の理科の授業をしたりしている。免許の関係も当然ある。</p>
問	豊岡市(竹野中学校長)	<p>① 制服は7～9年生だが、ブロック分けとずれている(7年生は中等ブロック)。検討段階でどのような検討をされて決定されたのか。</p> <p>② 名簿の中で、初等ブロックと中等ブロックの先生にも部活名が入っている。小学校の先生が部活を指導するのはこれまでなかったと思うが、指導状況の実態や経緯、先生や児童生徒の声は。</p>
答	江山学園校長	<p>① 制服に関しては、設立準備にあたり保護者も含めて協議した。市内で先行して義務教育学校となっている3校も制服導入学年はまちまち。ブロックにあわせて5年生から導入している学校もある。7年生からにした一番の理由は、5年生からの5年間にすると、体の成長と耐久性からどこかで買い替えの可能性が高いこと。また、対外的な、外に出ることを考えると、7年生からが良いのではないかとということで導入している。</p> <p>② 部活動に関しては、基本的には後期課程の教員が指導するのが大原則だが、前期課程の教員に確認をとりながら、第3顧問という形で名前をいれてもいいという場合には入れている。指導に関しては第2顧問までで行っており、どうしてもサポートが必要な場合のみ第3顧問が対応している。年間を通じてほとんどない。</p>
問	豊岡市(教育委員)	働き方改革が言われているが、義務教育学校になってから先生方の働き方、負担の具合はどうか。
答	江山学園校長	色々な面での負担はあると思う。江山学園でいうと、義務教育学校の経験者は校長だけ。ブロック制などこれまでの小中学校からの意識を変えていけないといけなところが当然ある。最初慣れるまで、理解するまでは負担があると思う。

		<p>基本的には、相互乗り入れ授業が一番働き方改革になっていると感じている。ボディブローのようにじわじわと効いてくるような効果。特に、小学校の先生は学級担任制がメインだと時間がない。実技教科を中心に専門の先生が指導することで、担任の空き時間が増えるという効果が出ている。学校業務では、生徒指導主任や特別支援教育主任など「主任」を中心として様々な対応に取り組んでおり、担任が全ての保護者対応や関係機関対応をする、ということは基本しないようにして負担軽減を図っている。</p>
問	豊岡市(竹野中学校長)	<p>義務教育学校に行きたいとか、義務教育学校にきて良かったという先生の声は。</p>
答	鳥取市教育委員会事務局	<p>鳥取市には4校の義務教育学校があるが、義務教育学校に行くというのは教職員にとってかなりチャレンジだと思っている。義務教育学校で学んだことを小中学校に戻って還元できること、逆に小中学校で学んだことを義務教育学校で発揮してもらいたい、というサイクルを描きながら人事をしている。行きたい、頑張りたいという教職員が多数いるかという、そうではない。頑張ってみたいという教職員が増えるように教育委員会として取り組む必要があると考えている。</p>